

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成25年12月12日 (2013.12.12)

【公開番号】特開2012-140644(P2012-140644A)

【公開日】平成24年7月26日 (2012.7.26)

【年通号数】公開・登録公報2012-029

【出願番号】特願2010-270302(P2010-270302)

【国際特許分類】

C 2 3 C 14/04 (2006.01)

【F I】

C 2 3 C 14/04 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月24日 (2013.10.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

セラミックの粉末および金属の粉末を有するマスキング材料。

【請求項 2】

セラミックが酸化セラミックである、請求項 1 記載のマスキング材料。

【請求項 3】

セラミックの粉末として Al_2O_3 / TiO_2 、 BN / TiO_2 、 ZrO_2 / TiO_2 、 Al_2O_3 / ZrO_2 、 BN / Al_2O_3 または BN / ZrO_2 から成る混合物を有する請求項 1 または 2 記載のマスキング材料。

【請求項 4】

唯一のセラミック材料のみを有する請求項 1 または 2 記載のマスキング材料。

【請求項 5】

金属の粉末はニッケル (Ni)、アルミニウム (Al)、コバルト (Co) またはクロム (Cr)、あるいはこれらの混合物または合金である、請求項 1 ないし 4 の 1 つに記載のマスキング材料。

【請求項 6】

唯一の金属材料のみを有する請求項 1 ないし 5 の 1 つに記載のマスキング材料。

【請求項 7】

セラミックと金属のみから成る請求項 1 ないし 6 の 1 つに記載のマスキング材料。

【請求項 8】

唯一のセラミックと唯一の金属のみを有する請求項 1 ないし 7 の 1 つに記載のマスキング材料。

【請求項 9】

請求項 1 ないし 8 の 1 つに記載のマスキング材料を有する、マスキング層。

【請求項 10】

多層に形成され、少なくとも 1 つのセラミック層 (7) と、請求項 5 または 6 記載の金属層 (10) とを有する、マスキング層。

【請求項 11】

少なくとも 2 つのセラミック層と少なくとも 2 つの金属層とを有する、請求項 10 記載のマスキング層。

【請求項 12】

2つの金属層と2つのセラミック層のみを有する請求項10または11記載のマスキング層。

【請求項 13】

基板(4)の表面(16, 19)の上に請求項1ないし8の1つに記載のマスキング材料が施される基板(4)のマスキング方法。

【請求項 14】

基板(4)の表面(16, 19)の上にセラミック材料から成る粉末層(7)が施され、第2の工程でセラミック層(7)の上に金属粉末層(10)が施される基板(4)のマスキング方法。

【請求項 15】

セラミックが酸化セラミックである、請求項14記載の方法。

【請求項 16】

1種類の金属が施される請求項14または15記載の方法。

【請求項 17】

粉末層(7, 10)が、塗布、スプレー、浸漬のいずれかの方法により施される、請求項14ないし16の1つに記載の方法。

【請求項 18】

金属のみを施す請求項14ないし17の1つに記載の方法。

【請求項 19】

セラミックのみを施す請求項14ないし18の1つに記載の方法。

【請求項 20】

請求項1ないし8の1つに記載のマスキング材料または請求項13ないし19の1つに記載のマスキング方法を使用し、被覆すべきでない個所(16)にマスキング材料(13)を施した後で被覆処理を実施する基板(4)の被覆方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

好適には Al_2O_3 / TiO_2 または ZrO_2 / TiO_2 または Al_2O_3 / ZrO_2 または BN / TiO_2 または BN / Al_2O_3 または BN / ZrO_2 が使用される。混合比は93 / 7または87 / 13が好適である。